

事務事業名	21215 公園事務費													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当		
組織コード	R5	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	08	04	06	02	01	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	15	06	00		R4	01	08	04	06	02	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち										再掲施策			● 対象 ○ 対象外
施策	26	魅力ある公園づくり													
事業期間	平成17年度～令和12年度														
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針				
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの														
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：														
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：														
対象															
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）														
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）														
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 （ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）														
行財政改革 の取り組み															

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額（千円）	令和5年度 予算額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	課内事務必要 経費	
	事業費	1,781	2,375	2,458	2,350	2,350	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,781	2,375	2,458	2,350	2,350
	人件費	7,962.6	7,506.05	7,506.05	7,506.05	7,506.05	
	投入 人員	常勤職員	1.15人	1.15人	1.15人	1.15人	1.15人
		非常勤職員	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人	0.19人
事業費+人件費		9,744	9,881	9,964	9,856	9,856	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	—：未設定 <判断理由>							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	—：未設定 <判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	—：未設定 <判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	—：未設定 <判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	—：未設定 <判断理由>

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和4年度に実施した取組内容・効果	
令和5年度に実施する取組内容	

6. 令和6年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 事務に必要な事業であるため、現状で継続する。

事務事業名	7546 ちびっ子プール補助金事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当		
組織コード	R5	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	08	04	06	03	01	記入日	令和 5年 6月15日
	R4	15	06	00		R4	01	08	04	06	03	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ													実施計画候補
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち										再掲施策	● 対象
施策	26	魅力ある公園づくり											○ 対象外
事業期間	昭和46年度～令和12年度												
根拠法令 通達等											関連計画 施政方針		
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	<input type="checkbox"/> リスクシナリオ番号：												
総合戦略	<input type="checkbox"/> 施策番号：												
対象	戸田市民（幼児）												
事業目的	町会地域内の親と子の心のふれあいの場として、ちびっ子プールの活用を促し、近隣社会の意識の高揚と健康で心豊かな人間づくりに寄与する。												
事業内容	<p>該当する町会の創意工夫により、安全で楽しく、ちびっ子プールの運営が行えるように補助金を交付する。</p> <p>各町会に、原則7～8月末までの期間に14回以上、ちびっ子プールを開催することを伝えた上で、開設期間及び実施日時の設定を任せている。</p>												
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input type="checkbox"/> 協働・協力（ ）												
行財政改革の取り組み	<p>地域によっては、ちびっ子プールの運営を担う主体がない等の理由により、開設が出来ない町会が出てきており、公園からちびっ子プールを撤去するケースも出ている。今後、各町会に意向を確認し、開設に積極的なニーズと消極的なニーズを捉え、ちびっ子プールの今後のあり方を検討する。</p>												

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額（千円）	令和5年度 予算額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	ちびっ子プール補助金事業	
	事業費	1,244	1,600	1,582	1,604	1,604	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,244	1,600	1,582	1,604	1,604
	人件費	1,246.32	1,174.86	1,174.86	1,174.86	1,174.86	
	投入人員	常勤職員	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人	0.18人
		非常勤職員	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人	0.09人
事業費+人件費		2,490	2,775	2,757	2,779	2,779	

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	ちびっ子プールの開設数	か所	35	35	35	35	35
	事務事業成果①	ちびっ子プールの利用者数	人	9,437	9,437	9,437	9,437	9,437
				0	19	—	—	—
				0	1,823	—	—	—
						—	—	—
						—	—	—
目標達成状況の分析	<p>C：全ての目標が達成できなかった。</p> <p><判断理由> 令和2年3月から流行している新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に、令和4年度は開設日数を7日以内とし実施した。また、開設を予定し準備していたものの、感染症の流行がみられたため急きょ中止し清掃等の管理のみとなった町会等もあり、開設箇所及び開設日数が例年より少なかったことから、利用者数も大幅に下回った。</p>							

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	B：経費は適正な範囲である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	B：事業手法は適正な内容である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> ちびっ子プールは、原則各町会に設置され、町会により運営されてきた。地域に根差した利用が継続していることから、受益・負担は適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和4年度に実施した取組内容・効果	特になし。
令和5年度に実施する取組内容	令和5年度のちびっ子プール開設完了後、各町会に今後の意向を確認し、開設に積極的なニーズと消極的なニーズを捉え、ちびっ子プールの今後のあり方を検討する。

6. 令和6年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	<input checked="" type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<p><方向性の判断理由・取組方針> ちびっ子プール補助金事業については、地元町会と連携しながら取り組んでいくこととし、住民コミュニティを育む公園づくりを行う運営主体を支援していく。</p>

事務事業名	7485 公園維持管理事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当		
組織コード	R5	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	08	04	06	03	02	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	15	06	00		R4	01	08	04	06	03	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補		
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち							再掲施策	31			● 対象
施策	26	魅力ある公園づくり											○ 対象外
事業期間	平成23年度～令和12年度												
根拠法令 通達等	都市公園法2条の3					関連計画 施政方針	都市マスタープラン 緑の基本計画						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-1、7-1												
総合戦略	□ 施策番号：												
対象	市民、公園利用者等												
事業目的	公園等に訪れる方々が安心して利用できるように、適切な維持管理を行う												
事業内容	公園等の樹木・施設物の維持管理												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 ()												
行財政改革 の取り組み													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額(千円)	令和5年度 予算額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	令和7年度 計画額(千円)	令和8年度 計画額(千円)	
事業の 予算・実績	主な事業内容	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	公園施設の適切な維持管理業務	
	事業費	486,003	569,516	615,041	546,916	554,216	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	29,181	9,192	9,192	9,192	9,192
		一般財源	456,822	560,324	605,849	537,724	545,024
	人件費	14,540.4	16,970.2	16,970.2	16,970.2	16,970.2	
	投入 人員	常勤職員	2.1人	2.6人	2.6人	2.6人	2.6人
		非常勤職員	0.28人	0.28人	0.28人	0.28人	0.28人
事業費+人件費		500,543	586,486	632,011	563,886	571,186	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績	
目標達成状況	事務事業活動①	公園の維持管理に携わるボランティア団体数	該当する公園がある町会・自治会の数	団体	42	42	42	42	42
	事務事業成果①	公園の維持管理に携わったボランティア団体数	維持管理に携わった町会・自治会などの団体数	団体	42	42	42	42	42
	強化KPI①	風害による倒木を予防するために高木を剪定した数	災害予防高木剪定とした樹木の本数（累計）	本	200	400	600	800	1,000
					657	471	—	—	—
							—	—	—
							—	—	—
目標達成状況の分析	B：いずれかの目標を達成した。 <判断理由> 予算に基づき目標達成に向けて事業を進めたことにより、1つの成果の目標を達成したが、2つの活動は僅かに達成出来なかった。今後、公園リニューアル計画に基づいた公園利活用により、町会に替わって、賑わいを創出する活動団体等が公園維持の担い手となるように公園経営を進めていく。								

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 身近な公園等の植栽や公園施設を適切に管理することにより、公園利用者が集い憩える安全な公共空間を保全することが出来ており、施策の目標達成に向けて貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 樹木の生長期間及び植栽場所に着目し、高木の剪定や危険木の伐採を実施することで、経費の抑制を図っており、事業費等の水準は適正である。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 市内160公園の内、75公園を直営、85公園を指定管理者で管理運営を行う他、町会が清掃等の軽微な作業を受託する等、行き届いた維持管理が励行されており、効率・効果が高い手法である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 公共オープンスペースである公園・緑地を適正に維持することで、景観の向上や生活環境に潤いをもたらしており、受益・負担の公平性は適正な範囲である。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和4年度に実施した取組内容・効果	市内公園に、賑わいの創出と効率的な公園管理・運営を行うことを目的に、彩湖・道満グリーンパークを含む85箇所の都市公園を包括指定管理する制度を導入した。
令和5年度に実施する取組内容	包括指定管理者の事業により、彩湖・道満グリーンパークの賑わいが市内の都市公園にも波及するように、利活用を図りたい団体や民間事業者のノウハウを活かしながら、公園を拠点とする賑わいの創出を図っていく。

6. 令和6年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 包括指定管理者は、公園利活用を展開して、公園を拠点とする賑わいの創出を図ると共に、自動販売機の設置等により収益性も高めて持管理費の抑制を図る。また、公園施設の長寿命化や、高木の維持管理方針に基いた樹木の適切な管理を行うことで安全な公園にすると共に、町会による維持管理の継続と新たな担い手の発掘を行っていく。 包括指定管理に含まれていない85箇所の都市公園以外の公園での賑わい創出に向けても、公園リニューアル計画による社会実験を繰り返しながら、実績を蓄積させる必要があり、民間事業者のノウハウを活かした新たな指定管理者制度の導入を検討する必要があることから、人員増など、事業を拡大して継続していく。

事務事業名	7620 公園施設整備・改修事業													
担当組織	環境経済部 みどり公園課										担当	公園担当		
組織コード	R5	15	06	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R5	01	08	04	06	04	01	記入日	令和 5年 6月20日
	R4	15	06	00		R4	01	08	04	06	04	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ											実施計画候補			
基本目標・考え方	06	都市環境と自然環境が調和したまち								再掲施策				● 対象
施策	26	魅力ある公園づくり												○ 対象外
事業期間	平成23年度～令和12年度													
根拠法令 通達等	都市公園法3条 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）							関連計画 施政方針						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの													
強靱化計画	■ リスクシナリオ番号：1-1、7-1													
総合戦略	□ 施策番号：													
対象	市民、幼児から成人、高齢者や障害者等の公園利用者													
事業目的	公園利用者の誰もが安心して安全に利用しやすい施設づくりと、快適な公園づくりを目指す。													
事業内容	新設公園の整備、公園施設の改修													
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託（ <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO） <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力（ ）													
行財政改革 の取り組み	重点戦略3 取組名：民間活力の活用により、既存公園を使いこなす 内容：市と指定管理者が、市民ニーズと社会ニーズをコーディネートして、民間活力の導入を図り、既存公園を使いこなすことで、一層の利用者数増加と満足度向上を図る。													

2. 事業費 <DO>

		令和4年度 執行額（千円）	令和5年度 予算額（千円）	令和6年度 計画額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	
事業の 予算・実績	主な事業内容	プール塗装・ 公園遊具改良 ・改修等・公 園施設改良・	プール塗装・ 公園遊具改良 ・改修等・公 園施設改良・	公園施設長寿 命化工事・公 園施設改良・ 改修、公園施	公園施設長寿 命化工事・公 園施設改良・ 改修、公園施	公園施設長寿 命化工事・公 園施設改良・ 改修、公園施	
	事業費	20,500	150,473	164,397	169,000	129,000	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	20,500	150,473	164,397	169,000	129,000	
	人件費	13,363.32	15,860.61	15,860.61	15,860.61	15,860.61	
	投入 人員	常勤職員	1.93人	2.43人	2.43人	2.43人	2.43人
		非常勤職員	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
事業費+人件費		33,863	166,334	180,258	184,861	144,861	

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名		説明・算定式	単位	R3目標 R3実績	R4目標 R4実績	R5目標 R5実績	R6目標 R6実績	R7目標 R7実績
目標達成状況	事務事業活動①	公園リニューアル計画に基づいた再整備の着手数	件	1	1	2	2	3
	事務事業活動②	新規公園の整備着手件数	件	0	0	1	1	2
	事務事業成果①	公園リニューアル計画に基づいた再整備の件数	件	0	0	1	1	2
	事務事業成果②	新規公園の整備の完了件数	件	0	0	0	0	1
	強化KPI①	公園リニューアル計画に基づいた再整備の件数	件	0	0	1	2	3
				0	0	—	—	—
				0	0	—	—	—
目標達成状況の分析	A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 予算に基づき目標達成に向けて事業を進めたことにより、活動・成果ともに目標を達成することができた。							

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	2年度	3年度	4年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 公園リニューアル計画に基づき、喜沢二丁目児童遊園地をモデル公園とし、ワークショップの意向を反映した大規模公園改修設計を実施し、施策の目標達成に向けて貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	2年度	3年度	4年度	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 公園リニューアル計画に基づく、ソフト（賑わい創出と施設長寿命化）とハード（モデル公園設計・工事）への期待が大きく、短・長期事業を同時に進めており、経費は適正な範囲にある。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	2年度	3年度	4年度	A：事業手法は工夫され、非常に効率的・効果的である。 <判断理由> 公園リニューアル計画に基づくソフト・ハードを織り交ぜた事業は、市民参加の機会が多く、効果的・効率的な公園経営が図れる手法であり適正である。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	2年度	3年度	4年度	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 公園リニューアル計画ポテンシャルカルテにより、リニューアル後の活用の伸びが大きい公園をモデル公園に選定し、地域の意向を反映する設計であるため、受益と負担の適正化は図られている。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和4年度に実施した取組内容・効果	取組名：公園リニューアル計画に基づくモデル公園整備に向けたワークショップ開催 その他の効果：公園リニューアル計画に基づき、下戸田地区の喜沢二丁目児童遊園地をモデル公園とし、大規模改修に向けたワークショップにて意見交換を実施し、公園設計に市民等の意向を反映することができた。
令和5年度に実施する取組内容	引き続き、美女木地区の公園において、ポテンシャルカルテを用いてモデル公園を選定し、ワークショップの意見交換を経て、意向を反映する公園設計を実施する。また、昨年度に設計した大前公園のリニューアル工事を本年度に実施するとともに、喜沢二丁目児童遊園地のリニューアル工事の令和6年度予算化を行う。

6. 令和6年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input checked="" type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和6年度で終了 <input type="radio"/> 令和5年度で終了 <input type="radio"/> 令和4年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 公園改修の際は、公園リニューアル計画に基づき、ワークショップ等により地域のニーズを取り入れた再整備を進めていく。なお、公園施設長寿命化計画に記載された改修については、公園リニューアル計画の方針に則り、ポテンシャルカルテ等に基づいた改修等の進行管理に努める。次に、土地地区画整理事業により造成された公園予定地は、整備に向けて、順次関係部署と調整を進めていく。更に、彩湖・道満グリーンパークについては、公園施設の利活用と公園以外の湖面や彩湖・自然学習センター付近の利活用を図る2つの視点を織り交ぜた大規模リニューアルに取り組んでいく。こうした新たなチャレンジにより賑わいの創出を図っていくため、予算増・人員増など、事業を拡大して継続していく。